

資料編

【地形地質編】

【ボーリング調査結果及び柱状図】

ボーリング柱状図 (No. 1)
<p>対象敷地の山側に位置しており、約5m で地山の斜面になる。そのため表面の盛土(Bs)は-3.10m までで薄い。盛土(Bs)のうち-1.00m まではコンクリ片を多く混入したシルト混じり礫で、以深はシルトの割合の多い礫層になる。盛土(Bs)の下には旧表土(Ts)と思われる黒ボク状の有機質土層が1.70m の厚さで認められる。-4.80～-6.10m は御嶽山起源のローム(Lm)と思われる火山灰質粘性土で、N値は1～2 である。-6.10～-13.60m は崖錐1(dt1)で礫混じり粘性土と礫質土が互層になっており、-9.20～-11.80m に礫質土を挟むものの上下の礫混じり粘性土は軟らかく、N値は4～16 である。-13.60m 以深は塩嶺累層の凝灰角礫岩で、-16.80m までは風化塩嶺累層(Enw)で全体として軟質であり、岩盤区分はD 級に区分される。-16.80m 以深は塩嶺累層(En)で凝灰角礫岩の基質が硬質になり、棒状コアで採取され、N値も50 以上で岩盤区分はCL 級に区分される。</p>
ボーリング柱状図 (No. 2)
<p>現況の清掃工場敷地の谷側で、盛土ののり肩に近い箇所である。表面の盛土(Bs)は-7.80m まで確認され、このうち-4.90m まではコンクリート片の混入の多い礫質土で、マトリックスは有機質シルトよりなる。-4.90～-7.80m は有機質砂質シルトを主体とし礫を混入する。盛土(Bs)の下の旧表土(Ts)と思われる黒ボク状の有機質土層は、1.00m の厚さで認められる。ローム(Lm)は-8.80～-9.60m に確認され、N値は2 である。-9.60～-21.70m は崖錐1(dt1)で、礫をほとんど混入しない均一な粘土～砂質シルトよりなり、全体的に還元状態で、一部腐植土を挟んでいる。-21.70～-26.55m は崖錐2(dt2)で強風化した凝灰角礫岩状であるが、岩盤組織は乱れが顕著で、風化礫を主体とする。崖錐1(dt1)と崖錐2(dt2)の境界は、土質、色調とも明確に変化している。N値は17～46 でバラツキが大きい。-26.55～-35.00m は風化塩嶺累層(Enw)で下部ほど硬質になるが、全体的に褐灰色に変色しており、岩盤区分はD 級に区分される。-35.00m 以深は塩嶺累層(En)で変色はあまり見られず、棒状コアで採取され、N値も50 以上で岩盤区分はCL 級に区分される。</p>
ボーリング柱状図 (No. 3)
<p>清掃工場敷地南側の駐車場で実施しており、盛土上部の敷地に比べて約8m 低い谷側で、盛土ののり肩に近い箇所である。表面には駐車場の舗装が盛土(Bs)として0.50m 確認される。盛土(Bs)の下には旧表土(Ts)と思われる黒ボク状の有機質土層が、1.40m の厚さで認められる。ローム(Lm)は-1.90～3.00m に堆積し、N値は2 である。-3.00～-17.45m は崖錐1(dt1)で、礫をほとんど混入しない均一な粘土～砂質シルトよりなり、一部礫混じりの部分がある。-9.90m までは褐～淡褐灰色に酸化しているが、-9.90～-16.60m は淡青灰色で還元状態である。-17.45～-23.50m は崖錐2(dt2)で風化の進んだ小礫を含んだ凝灰質シルトである。N値は13～24 で上部より硬くなる。-23.50～-28.30m は風化塩嶺累層(Enw)で硬質な安山岩転石を含む部分ではN値は50 以上になるが、それ以外の部分ではN値は21～35 であり、全体的に褐灰色に変色していて、岩盤区分はD 級に区分される。-28.30m 以深は塩嶺累層(En)で、若干変色しているが棒状コアで採取され、N値も50 以上で岩盤区分はCL 級に区分される。</p>

ボーリング柱状図

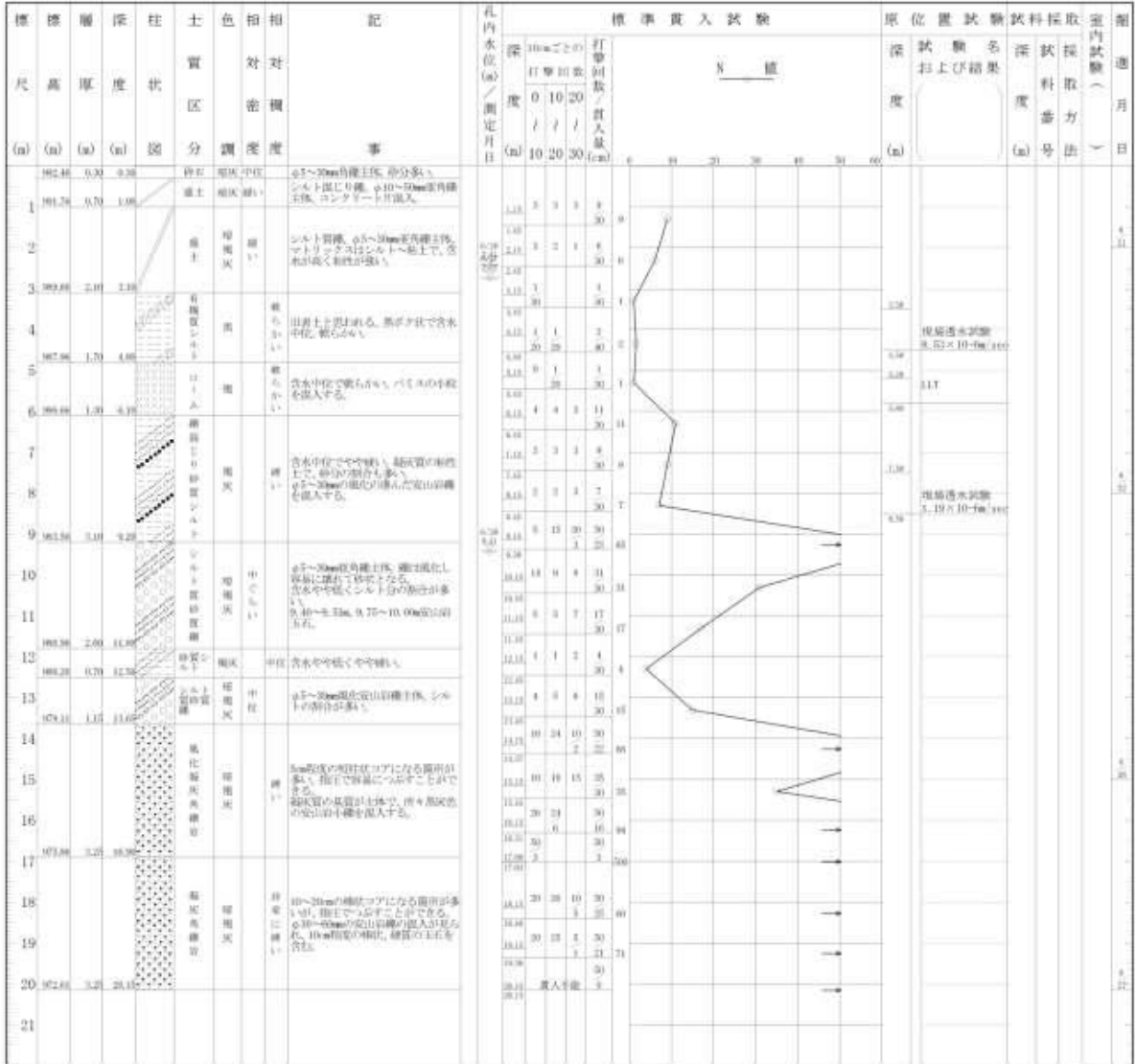
調査名 平成23年度浜岡地区ごみ処理施設整備に係わる地質調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H24-No.1		調査位置	岡谷市 内山		北緯	36° 4' 5.0"	
発注機関	岡谷市			調査期間	平成 24年 6月 21日 ~ 24年 6月 28日		東経	138° 1' 37.0"
調査業者名	株式会社 五野技研 電話 (0263-47-7677)		主任技師	太田勝一		現場代理人	コア 確定者 下田 力	
ボーリング責任者			ボーリング責任者			ハンマー	落下用具	
ボーリング責任者			ボーリング責任者			ポンプ	自動落下	
孔口標高	992.76m		角度			試験機	KR-SH	
総掘進長	20.15m		地盤勾配			エンジン	ゲンマーNFD6	
						ポンプ	自動落下	



ボーリング柱状図 (No. 1)

ボーリング柱状図

調 査 名 平成23年度湖周地区ごみ処理施設整備に係わる地質調査業務

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	H24-N0.2	調査位置	岡谷市 内山		北 緯	36° 4' 4.3"	
発注機関	岡谷市			調査期間	平成 24年 6月 21日 ~ 24年 7月 3日		
調査業者名	株式会社 長野技研 電話 (0263-47-7677)	主任技師	太田 勝一	現 場 代 理 人	コ ア 下田 力 鑑定者	ボーリング 責任者	宮部 正伸
孔口標高	992.75m	角	北 0° 東 90° 西 90° 南 0°	方位	北 0° 東 90° 西 180° 南 0°	地盤勾配	試 験 機
総掘進長	39.18m	度	0°	東	90°	南	YBM-2Z エンジン ヤシマーNF012
		度	0°	東	90°	南	ハンマー 落下用具 ポンプ
		度	0°	東	90°	南	自動落下 動増

標尺	層厚	深	柱状	土質	色相	相対	記	標準貫入試験			原位置試験			採取	室内	相		
								深	打撃回数	N	深	試験名	深				採取	試験
(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	事	(n)	10	20	30	(n)	(n)	番号	方法	()	日	
992.47	0.30	0.30	粘土	硬質	黄褐色	細粒	粘土、層状で高結核する、含砂中に軟らかい。	10mごとの打撃回数を貫入量(m)に換算する。	1.10	2	5	9						
1			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	10~40mm前後の塊、マトリックスは粘土質の多いシルトで、空隙も認められる。		1.15	8	4	16	2.00	原場透水試験 7.91×10 ⁻⁵ (cm/s)	3.00	11.0	6.25	
2			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	4.40~6.00mmの角状粘土。		1.20	4	3	10	3.00					
3			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、右側面に散らかり、粘土質の多いシルト。10~30mm程度の塊あり、水圧も大きい。		1.25	3	2	9	4.00					
4			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.30	2	1	5	5.00					
5			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.35	2	1	5	6.00					
6			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.40	2	1	5	7.00	原場透水試験 3.81×10 ⁻⁵ (cm/s)	4.00		6.25	
7			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.45	2	1	5	8.00	原場透水試験 1.99×10 ⁻⁵ (cm/s)	5.00		6.25	
8			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.50	2	1	5	9.00					
9			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.55	2	1	5	10.00					
10			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.60	2	1	5	11.00					
11			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.65	2	1	5	12.00					
12			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.70	2	1	5	13.00					
13			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.75	2	1	5	14.00					
14			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.80	2	1	5	15.00					
15			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.85	2	1	5	16.00					
16			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.90	2	1	5	17.00					
17			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		1.95	2	1	5	18.00					
18			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.00	2	1	5	19.00					
19			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.05	2	1	5	20.00					
20			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.10	2	1	5	21.00					
21			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.15	2	1	5	22.00					
22			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.20	2	1	5	23.00					
23			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.25	2	1	5	24.00					
24			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.30	2	1	5	25.00					
25			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.35	2	1	5	26.00					
26			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.40	2	1	5	27.00					
27			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.45	2	1	5	28.00					
28			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.50	2	1	5	29.00					
29			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.55	2	1	5	30.00					
30			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.60	2	1	5	31.00					
31			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.65	2	1	5	32.00					
32			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.70	2	1	5	33.00					
33			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.75	2	1	5	34.00					
34			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.80	2	1	5	35.00					
35			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.85	2	1	5	36.00					
36			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.90	2	1	5	37.00					
37			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		2.95	2	1	5	38.00					
38			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		3.00	2	1	5	39.00					
39			砂質土	硬質	黄褐色	粗粒	含水中にやや硬い、粘土質の多いシルト。		3.05	2	1	5	40.00					

ボーリング柱状図 (No. 2)

ボーリング柱状図

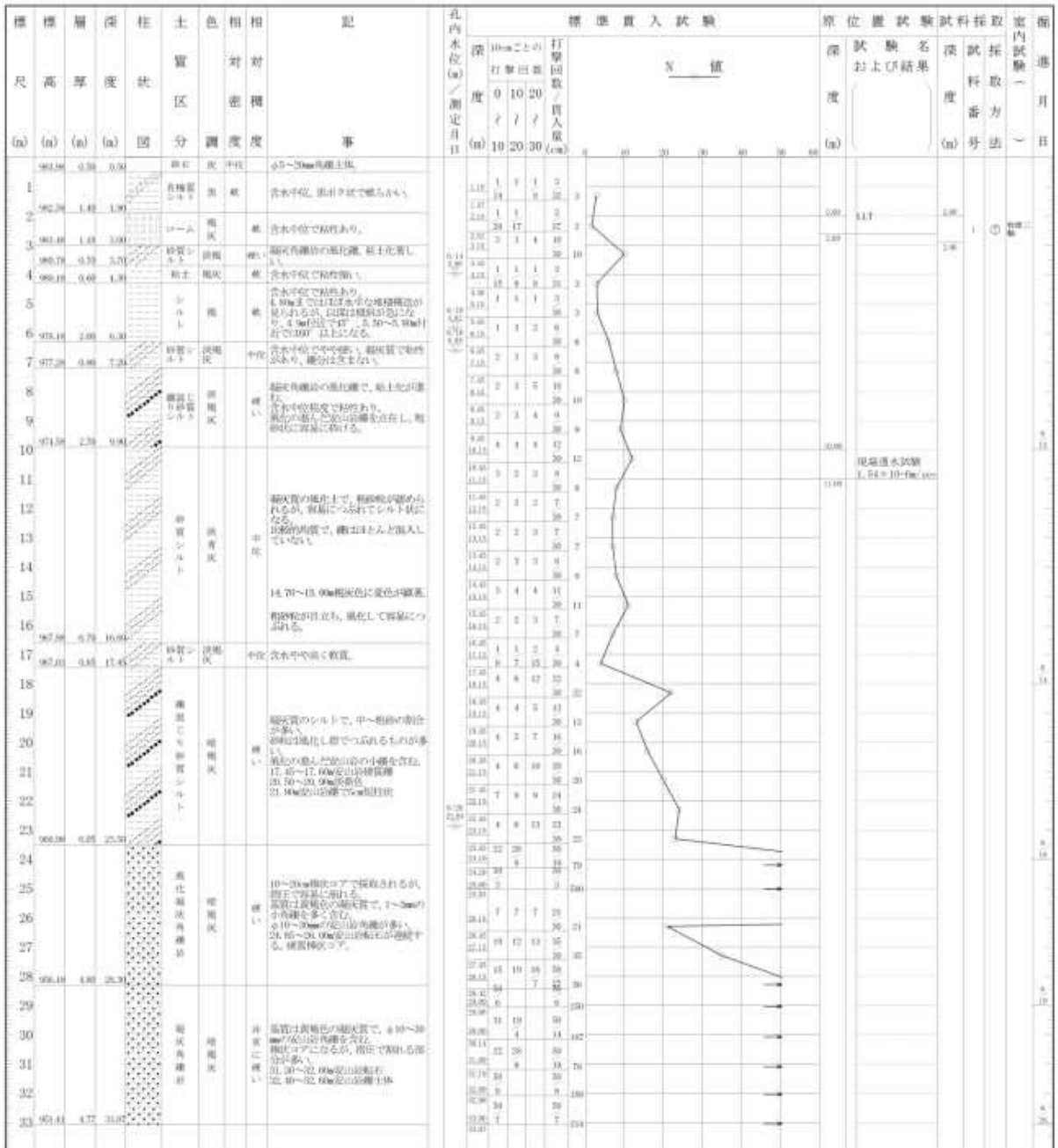
調査名 平成23年度湖周地区ごみ処理施設整備に係わる地質調査業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H24-No.3	調査位置	岡谷市 内山	北緯 36° 4' 4.3"
発注機関	岡谷市	調査期間	平成 24年 6月 13日 ~ 24年 6月 20日	東経 138° 1' 40.6"
調査者名	株式会社 長野技研 電話 (0263-47-7671)	主任技師	太田 勝一	現場入 コ ア 鑑定者
ボーリング 責任者		代理人	下田 力	ボーリング 責任者
ボーリング 責任者		試験機	YBM-22	ハンマー 落下用具
ボーリング 責任者		エンジン	ヤンマー NFD12	ポンプ
ボーリング 責任者		自動落下		自動落下
ボーリング 責任者		動噴		動噴



ボーリング柱状図 (No. 3)